

# 伊根町庁舎・コミュニティセンター（近畿地区）



南東側外観

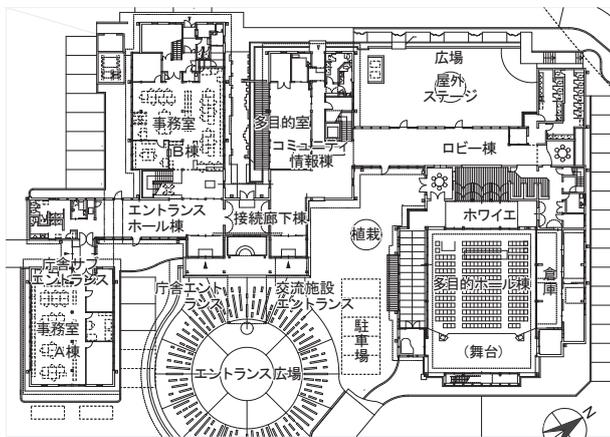


ロビー

所在地 : 京都府与謝郡伊根町字日出 651 番地  
 敷地面積 : 8,606.45 m<sup>2</sup>  
 建築面積 : 1,979.45 m<sup>2</sup>  
 延床面積 : 2,399.28 m<sup>2</sup>  
 構造・階数 : W 造 一部 RC 造 地上 2 階  
 事業者 : 伊根町  
 設計者 : (株)浦辺設計  
 施工者 : 大林・金下 JV  
 竣工年月 : 平成 17 年 3 月  
 総工事費 : 830 百万円

伊根町は舟屋の美しい集落であり、内陸部に建つこの施設でも、エントランス広場を海に見立て、舟屋をモチーフに取り入れた分棟形式を採用している。その結果、エントランス広場に向かって切妻屋根が六つ並ぶ形になったが、用途的に大きくならざるを得ない四つの切妻屋根のスケール感を、舟屋スケールの小さな切妻屋根が緩和している。

また、庁舎とコミュニティセンターのエントランスホールは雁行しながら多目的ホールのロビーに接続され、分節化した主要スペースがスムーズに結びつけられ、分節化による屋内外のつながりは、居心地のよいスペースを生み出している。もう一つの特筆すべき特徴として、地元産材の木材を用いた木造庁舎だという点がある。防災拠点機能と長寿命化、平面計画のフレキシビリティが求められる庁舎建築の木造化には多くの課題解決が必要であるが、グリッド型プランの採用と接着剤充填接合金物による国産材の複合断面化により解決している。その結果、環境にやさしい木造建築を実現している。公共建築の木材活用の積極的な事例として高く評価できる。



1 階平面図